

# 株主のみなさまへ

## 第84期 中間報告書

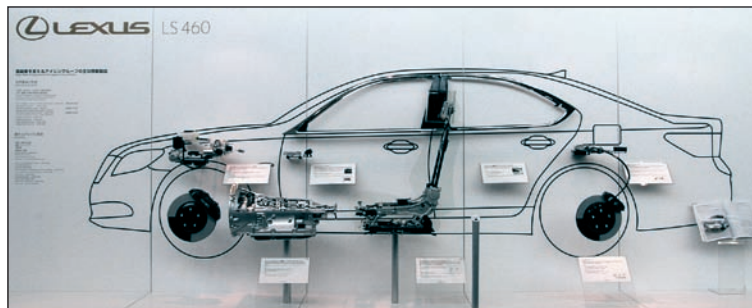
平成18年4月1日から平成18年9月30日まで



## ■レクサスLS460用に、先進的な新技術、新製品を開発

9月に日本で発売されたレクサス「LS460」用に、先進的な新技術、新製品を開発し、多数の製品が搭載されました。世界初の後輪駆動車用8速オートマチックトランスミッション\*1、電動パーキングブレーキ\*1、インテリジェント パーキング アシスト（超音波センサー付）\*1、プリクラッシュ インテリジェント ヘッドレスト\*2、亜鉛一体ドアフレームモールなど、アイシングループの「最先端の技術」と「匠の技」が「高級の本質」を追求するレクサスに貢献しています。

\*1:トヨタ自動車(株)と共同開発 \*2:トヨタ自動車(株)、トヨタ紡織(株)と共同開発



レクサス「LS460」に搭載された製品のデモンストレーションモデル

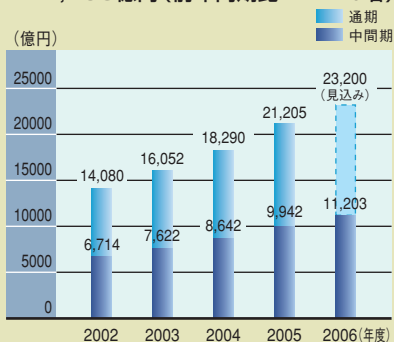
### レクサス「LS460」に搭載された主なアイシングループの製品

- 8速オートマチックトランスミッション **世界初**
- 電動パーキングブレーキ **日本初**
- インテリジェント パーキング アシスト **世界初**  
(超音波センサー付)
- プリクラッシュ インテリジェント ヘッドレスト **世界初**
- 亜鉛一体ドアフレームモール
- マグネシウム合金シリンダーヘッドカバー
- ドライバーモニターシステム
- エアサスペンションシステム
- パワーシート
- ディスクブレーキ
- カーナビゲーションシステム

## 財務ハイライト

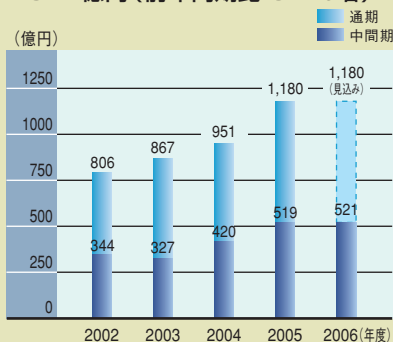
### ■売上高

11,203億円 (前年同期比 12.7%増)



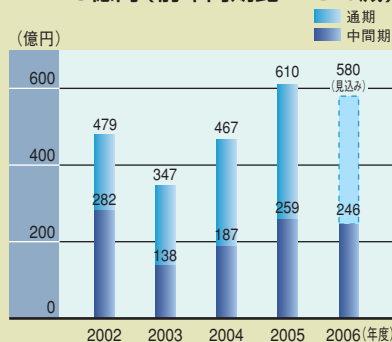
### ■営業利益

521億円 (前年同期比 0.4%増)



### ■中間(当期)純利益

246億円 (前年同期比 4.9%減)



**見通しに関する注意事項：**この事業報告書に記載されている当社および当社グループ各社の現在の計画、見通し、戦略等は、現在入手可能な情報に基づく見込みであり、実際の業績はこれらの業績予測とは異なる可能性があります。従って投資判断に際しましては、これらの計画、見通し等に全面的に依拠することはお控えくださいますようお願いいたします。



取締役会長  
豊田 幹司郎

取締役社長  
山内 康仁

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社第84期中間報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当中間期(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)の売上高は11,203億円と前年同期に比べ12.7%の増収となりました。利益面では、売上高の増加に加え、原価低減など経営全般にわたる合理化・効率化活動に取り組んだものの、減価償却費、研究開発費の増加やアルミをはじめとする原材料価格の上昇の影響を大きく受けた結果、経常利益は前期に比べ1.2%減の546億円となりました。中間(当期)純利益は、前年同期に比べ4.9%減の246億円となりました。

中間配当金につきましては、1株につき16円とし、支払開始日を11月27日とさせていただきます。

原油や鋼材、アルミなど原材料価格の変動や価格競争の激化など、事業環境は、依然として多くの不安定要素を抱えておりますが、このような中で、当企業グループは、足もとの課題に的確に対処するとともに、グループの総力を結集し、グローバル競争力と企業体質の強

化に積極的に取り組み、世界のトップブランドをめざしていきます。そのため、「環境」や「安全」、「快適」の分野で、新たな市場を創造するシステム商品の開発を加速するとともに、工法開発や人材育成を通じた「ものづくりの力の向上」をはかり、お客様に喜んでいただける商品を積極的に提案していきます。また、国内をはじめ、北米や豪亜、欧州などでの生産・開発・販売体制のさらなる拡充により、グローバルな供給ネットワークを整備し、世界各地でのお客様のニーズに迅速に応えられる体制を構築していきます。

さらに、社会から信頼される企業として、「環境取り組みプラン」に基づく環境保全五ヵ年計画の着実な推進により、環境のトップランナーをめざすとともに、地域発展や自然保護、青少年の育成に重点を置いた企業市民活動、公正で透明性の高い企業行動を絶えず心掛け、社会との調和ある成長と社業の発展に努めてまいります。

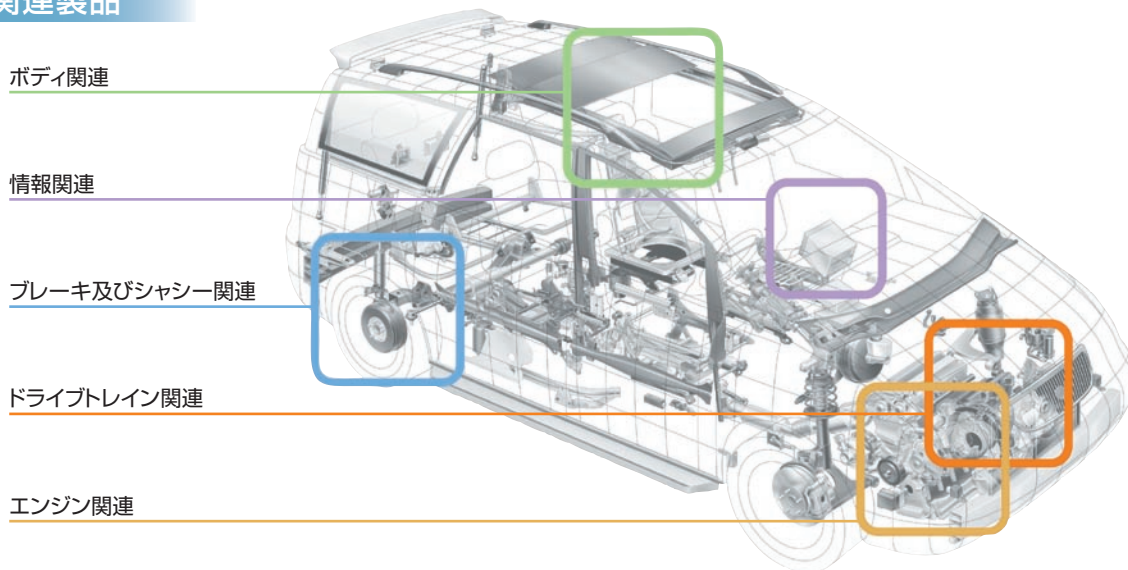
株主のみなさまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年11月

## ユーザーニーズに即した商品開発力で多彩な事業を展開しています。

多様化するユーザーニーズに的確に応え信頼を獲得するため、グループ各社が得意分野を活かした技術開発体制で、魅力ある商品の創出に積極的に取り組んでいます。

### 自動車関連製品



ボディ関連

情報関連

ブレーキ及びシャシー関連

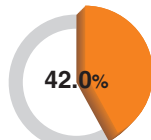
ドライブトレイン関連

エンジン関連

#### ドライブトレイン関連

- オートマチックトランスミッション(AT)
- 無段変速機(CVT)
- マニュアルトランスミッション(MT)
- ハイブリッドシステム
- オートマテッド マニュアルトランスミッション
- クラッチディスク・カバー

売上高および構成比率  
(2006年度中間期)



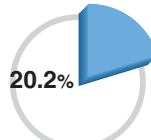
4,708億円  
(前年同期比 11.1%増)

売上の4割を占める主力事業であり、軽自動車から小型・中型トラックおよびバス、産業車両用まで業界一の品揃えを誇ります。ATは専門メーカーとして世界No.1のシェアを継続しています。

#### ブレーキ及びシャシー関連

- ブレーキマスターシリンダー
- アンチロック ブレーキ システム(ABS)
- ディスクブレーキ
- エレクトロニック スタビリティコントロール(ESC)
- ドラムブレーキ
- エアサスペンションシステム

売上高および構成比率  
(2006年度中間期)



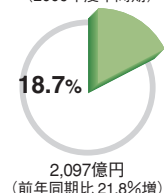
2,255億円  
(前年同期比 13.3%増)

事故を起こしにくく、危険回避をしやすいクルマづくりのために、先進の技術を駆使し、「走る」・「曲がる」・「止まる」を融合した高性能で高品質なシステム商品を開発しています。

### ボディ関連

- ドアロック
- サンルーフ
- ドアフレーム
- パワースライドドアシステム
- パワーシート
- ドアハンドル
- パワーバックドアシステム
- 体重検知センサー

売上高および構成比率  
(2006年度中間期)

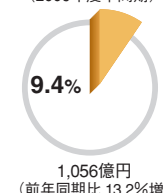


快適性・利便性・安全性など機能性の追求はもとより、デザイン性向上や軽量化に取り組み、お客様のカーライフの充実に貢献する商品を他社に先駆けて提供しています。

### エンジン関連

- ウォーターポンプ
- インテークマニホールド
- オイルポンプ
- エキゾーストマニホールド
- ピストン
- 可変バルブタイミング機構 (VVT)

売上高および構成比率  
(2006年度中間期)

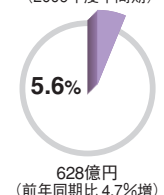


エンジンまわりの機能部品や鋳造部品を幅広く手がけており、エンジントータルの視点で、軽量化・排出ガスのクリーン化・省燃費に貢献できる技術開発を推進しています。

### 情報関連他

- カーナビゲーションシステム
- インテリジェント パーキング アシスト
- 駐車アシストシステム
- フロント&サイドモニターシステム
- レーン逸脱報知システム

売上高および構成比率  
(2006年度中間期)



カーナビゲーションシステムや画像処理技術を活かした駐車支援システムなど、安全・快適なカーライフをサポートする商品を開発。カーナビゲーションは日本はもとよりグローバル市場での拡販活動により世界トップクラスのシェアを誇ります。

### 粗形材関連

- アルミダイキャスト製品
- 鍛鉄製品
- プレス製品
- 樹脂成形品

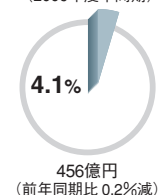
アイシングループ内の  
内部取引により相殺

グループ各社がさまざまな分野の粗形材技術を有している強みを活かし、新技術・新工法開発に積極的に取り組むことにより、各商品の競争力向上やグループ全体での付加価値の向上をはかっています。

### 住生活関連機器 その他

- ベッド・寝装品
- シャワートイレ
- ガスヒートポンプエアコン (GHP)
- コージェネシステム
- ペルチェモジュール
- ファイバーレーザー
- ミシン
- 介護ベッド
- 住宅設備機器
- クライオポンプ
- 音響機器
- パイオ関連機器
- 刺しゅう機
- 電動車椅子
- 住宅リフォーム
- クライオクーラー

売上高および構成比率  
(2006年度中間期)



GHPやガスエンジンコージェネシステム、ベッド・寝装具、シャワートイレ、ミシン、リフォームサービス、介護・福祉機器を取り扱っています。今後、環境問題の進展や高齢化などの社会構造の変化にともない、省エネルギーや健康で快適な暮らしに対するニーズは高まってくると予想されます。こうしたニーズを先取りし、社会やお客様にとって価値のある商品の開発に取り組んでいます。

## ドライブトレイン関連

2006年度中間期売上高は4,708億円（前年同期比11.1%増）となりました。これはアイシン・エイ・ダブリュの6速AT、アイシン・エアの6速MT等の販売が好調に推移したことによるものです。ATの当中間期の販売台数は255万台で、シェアは専門メーカーとして世界ナンバーワンです。

**New** 高容量後輪駆動車用（FR）8速AT（TL-8OSN）

**世界初**



エンジンの高トルク化を生かした加速性能による卓越した走り、燃費の向上を同時に実現した世界初のFR8速AT

\*この製品はLepelletier方式に基づきます

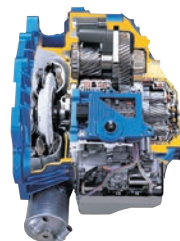
**【搭載車種】**

●レクサス「LS460」

**アイシン・エイ・ダブリュ**

（トヨタ自動車㈱と共同開発）

**拡販** 高容量前輪駆動車用（FF）6速AT（TF-8OSC）



高トルク容量に対応しながら小型化を実現したFF6速AT

\*この製品はLepelletier方式に基づきます

**【搭載車種】**

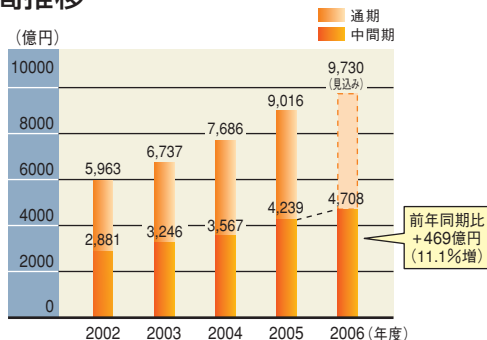
●ブジョー「307」、「407」、「607」

●シトロエン「C4」、「C5」、「C6」

●ボルボ「S60」、「V70」、「XC70」、「XC90」

**アイシン・エイ・ダブリュ**

### 売上高推移



**拡販** 高容量前輪駆動車用（FF）6速MT（BG6）



新開発の3軸タイプギヤトレイン構造により、高容量FF6速MTで軽量・コンパクト化を達成

**【搭載車種】**

●マツダ「Mazda3」

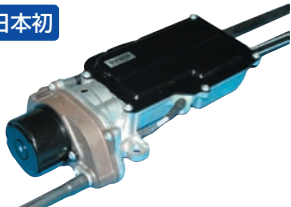
**アイシン・エア**

## ブレーキ及びシャシー関連

2006年度中間期売上高は2,255億円（前年同期比13.3%増）となりました。これは、アドヴィックスのブレーキシステム、ならびにブレーキコンポーネントの販売が国内外で好調に推移したことによるものです。

**New** 電動パーキングブレーキ

日本初



従来のパーキングブレーキ動作を電動化し、ドライバーの負荷を軽減、利便性を向上

【搭載車種】

●レクサス「LS460」

アドヴィックス

（トヨタ自動車㈱と共同開発）

**拡販** ディスクブレーキ



高級車・スポーツ車にマッチした、高剛性、高性能、軽量化を高次元で実現

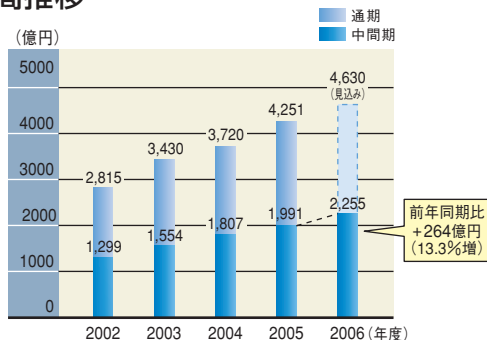
【搭載車種】

●レクサス「LS460」

アドヴィックス

（ディスクローターはアイシン高丘製）

### 売上高推移



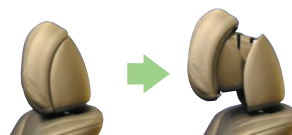
## ボディ関連

2006年度中間期売上高は2,097億円（前年同期比21.8%増）となりました。これは、アイシン精機のパワースライドドアシステムやシート、ドアハンドルなどの販売が好調に推移したことによるものです。

**New** プリクラッシュインテリジェントヘッドレスト

世界初

衝突予知機能によって後方車両の追突が不可避と判断された場合にヘッドレスト前面部を突出させ、頭部とヘッドレスト間の距離を縮めることで頸部にかかるショックをやわらげ、鞭打ち傷害を軽減



【搭載車種】

●レクサス「LS460」

アイシン精機

（トヨタ自動車㈱、トヨタ紡織㈱と共同開発）

**拡販** パワースライドドアシステム



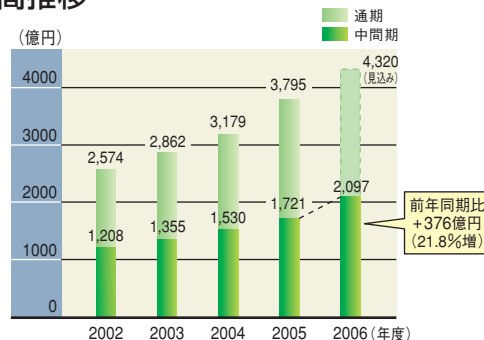
スライドドア内蔵の駆動ユニットを軽自動車用に小型化、広い車室空間を確保

【搭載車種】

●三菱「ekワゴン」

アイシン精機

### 売上高推移



## エンジン関連

2006年度中間期売上高は1,056億円（前年同期比13.2%増）となりました。これは、アイシン精機をはじめ、北米、欧州でのエンジンフロントモジュール等のアルミ部品の販売拡大によるものです。

### マグネシウム合金シリンダーヘッドカバー



マグネシウム合金を使用することにより、エンジン本体の軽量化に貢献

【搭載車種】

●レクサス「LS460」

アイシン精機

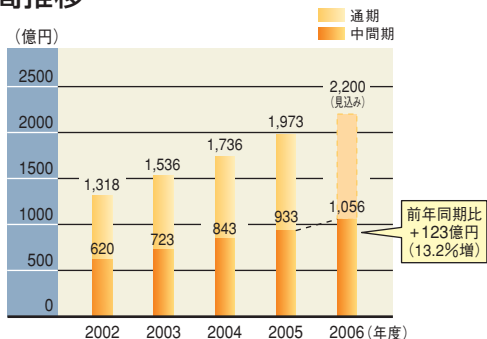
### エンジンフロントモジュール



エンジン前まわりの部品を集約し、軽量化・低コスト化を実現

アイシン精機

## 売上高推移



## 情報関連他

2006年度中間期売上高は628億円（前年同期比4.7%増）となりました。これは、アイシン・エイ・ダブリュのカーナビゲーションシステムの販売が好調に推移したことによるものです。

### New 世界初 インテリジェント パーキング アシスト (超音波センサー付)



駐車時のステアリング操作を支援する従来システムに、超音波センサーによる他車両位置検出機能を追加し操作性を向上

【搭載車種】

●レクサス「LS460」

アイシン精機

(トヨタ自動車㈱と共同開発)

### 拡販 欧州向けDVDボイスナビゲーションシステム



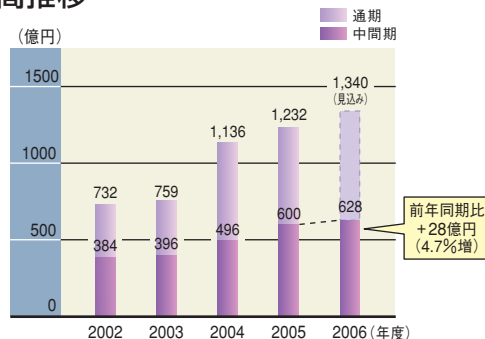
欧州向けモデルでは初となる一般道レーン案内機能を搭載

【搭載車種】

●トヨタ「RAV4 (欧州モデル)」

アイシン・エイ・ダブリュ

## 売上高推移





## 粗形材関連

粗形材関連分野においては、製品の機能・性能・強度を確保しつつ、小型・軽量化や低コスト化を実現していくことが求められており、アイシンは、さまざまな分野の粗形材技術を有している強みを活かし、材質置換や新工法・新材料など、新たな技術導入に積極的に取り組んでいます。主に、アイシン高丘が鋳鉄製品、アイシン化工が樹脂成形・化成品、アイシン軽金属がアルミダイキャスト製品、そしてアイシン精機がプレス部品とアルミダイキャスト製品を担当しています。

### New ハウジング一体型トランスミッションケース



コンバータハウジングとエクステンションハウジングの一体により軽量化を実現  
(レクサス「LS460」のFR8速ATに使用されています)

アイシン精機

### 拡販 塩ビフリーアンダーコート



塩ビフリー化で環境負荷物質を低減

- 《搭載車種》  
●レクサス「LS460」

アイシン化工

\*売上高については自動車関連分野の各々の製品に含まれています。

## 住生活関連機器 その他

2006年度中間期売上高は456億円（前年同期比0.2%減）となりました。当社は環境に優しい商品の実用化をめざし、次世代エネルギー機器として、燃料電池を使った家庭用コージェネレーションシステムなどの開発にも積極的に取り組んでいます。

### New GHP「D1シリーズ」



業界トップクラスの省エネ性や軽量化、省メンテナンス性を実現

アイシン精機

2台の連結で、最大50馬力を実現する「まとマルチ」

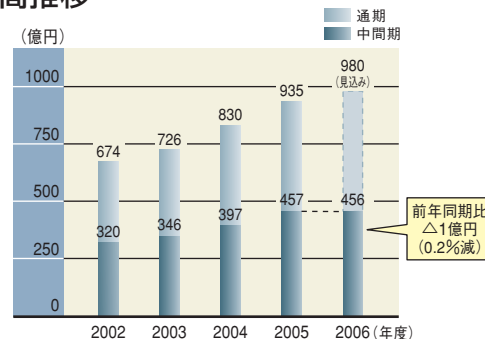
### New 介護ベッド「JUST BELLGRAND」と ポータブルトイレ「BELLLET」



背上げの際に背ずれと腹部圧迫を軽減する業界初の機構を搭載した介護ベッドとフラット設計で座位移乗を可能としたポータブルトイレ

アイシン精機

## 売上高推移



## ■ 中間連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当中間期	前年中間期
	2006年4月1日から 2006年9月30日まで	2005年4月1日から 2005年9月30日まで
売上高	1,120,307	994,240
売上原価	981,747	858,923
販売費及び一般管理費	86,389	83,366
営業利益	52,171	51,950
営業外収益	10,087	8,996
営業外費用	7,563	5,562
経常利益	54,695	55,383
税金等調整前中間(当期)純利益	54,695	55,383
法人税、住民税及び事業税	13,901	17,470
法人税等調整額	5,241	2,119
少数株主利益	10,869	9,848
中間(当期)純利益	24,682	25,944

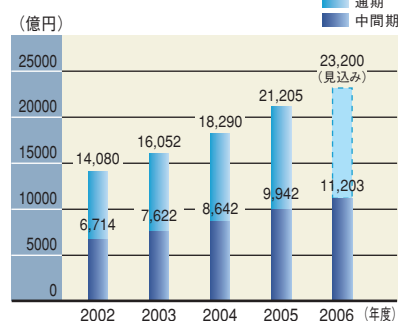
### 売上高

主要得意先の自動車生産台数の増加に加え、車の安全・環境・利便・楽しさを追求した新製品の拡販に努めた結果、前年同期に比べ12.7%増加しました。

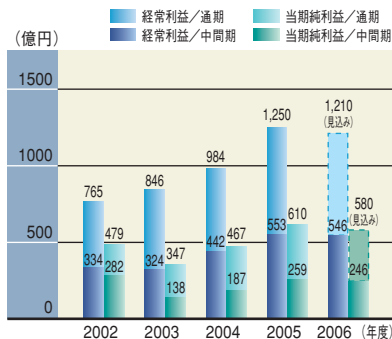
### 経常利益

売上の増加に加え、原価低減・工程の改善など経営全般にわたる合理化・効率化活動に取り組んだものの、減価償却費、研究開発費の増加や原材料価格の上昇により、前年同期に比べ1.2%減少しました。

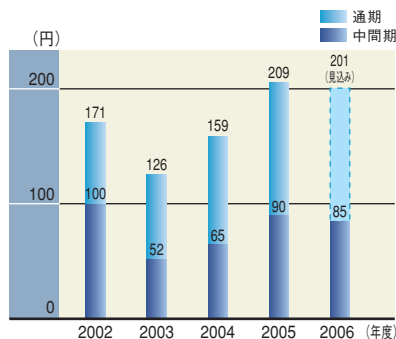
### ■ 売上高



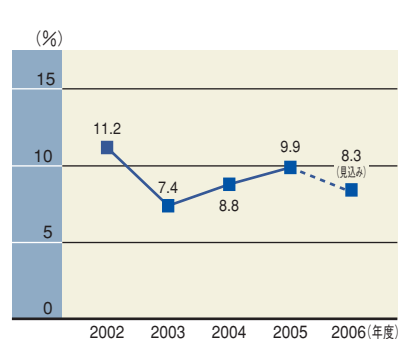
### ■ 経常利益/当期純利益



### ■ 1株あたり当期純利益



### ■ 株主資本利益率 (ROE)



## ■ 中間連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科 目	当中間期 (2006年9月30日)	前 期 (2006年3月31日)	科 目	当中間期 (2006年9月30日)	前 期 (2006年3月31日)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
流動資産	<b>676,149</b>	<b>694,030</b>	流動負債	<b>577,675</b>	<b>639,100</b>
現金及び預金	94,089	95,443	支払手形及び買掛金	317,242	327,176
受取手形及び売掛金	330,184	336,864	CP及び短期借入金	55,047	46,887
有価証券	16,025	32,434	その他	205,384	265,035
たな卸資産	158,425	148,782	固定負債	<b>395,652</b>	<b>363,294</b>
その他	78,169	82,281	社債	35,000	35,500
貸倒引当金	△ 745	△ 1,775	● 長期借入金	208,558	176,811
固定資産	<b>1,173,032</b>	<b>1,159,428</b>	繰延税金負債	62,596	63,609
● 有形固定資産	<b>785,140</b>	<b>777,763</b>	退職給付引当金	85,516	84,750
建物及び構築物	218,964	211,914	長期未払金	1,864	2,542
機械装置及び運搬具	394,899	382,263	その他	2,116	80
その他	171,277	183,585	負債計	<b>973,327</b>	<b>1,002,394</b>
無形固定資産	<b>12,714</b>	<b>10,249</b>	(純資産の部)		
投資その他の資産	<b>375,176</b>	<b>371,415</b>	株主資本	<b>570,829</b>	<b>551,732</b>
投資有価証券	321,397	319,716	資本金	45,049	45,049
長期貸付金	4,827	4,314	資本剰余金	63,813	63,262
繰延税金資産	22,099	21,450	利益剰余金	463,359	445,241
その他	28,068	26,388	自己株式	△ 1,393	△ 1,820
貸倒引当金	△ 1,216	△ 455	評価・換算差額等	<b>123,657</b>	<b>127,148</b>
			新株予約権	41	—
			少数株主持分	<b>181,324</b>	<b>172,183</b>
合 計	<b>1,849,181</b>	<b>1,853,458</b>	純 資 産 計	<b>875,854</b>	<b>851,064</b>
			合 計	<b>1,849,181</b>	<b>1,853,458</b>

(注) 前期は、当中間期と同様の基準で作成しております。

### 有形固定資産

有形固定資産は、73億円増加しました。アイシン精機衣浦工場をはじめ、北米・中国・欧州での生産能力増強などが、主要因です。

### 長期借入金

金融機関から長期借入金を調達し、国内外での設備投資資金に充当しました。その結果、有利子負債の合計は、394億円増の2,986億円となりました。

## ■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当中間期	前年中間期
	2006年4月1日から 2006年9月30日まで	2005年4月1日から 2005年9月30日まで
Ⅰ. 営業活動によるキャッシュ・フロー	71,281	60,778
Ⅱ. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 134,725	△ 89,316
Ⅲ. 財務活動によるキャッシュ・フロー	32,524	12,520
Ⅳ. 現金及び現金同等物に係る換算差額	17	1,998
Ⅴ. 現金及び現金同等物の増減額	△ 30,901	△ 14,017
Ⅵ. 現金及び現金同等物の期首残高	128,212	116,401
Ⅶ. 現金及び現金同等物の期末残高	97,311	102,383

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

・中間純利益	+546億円
・減価償却費	+704億円
・その他	△538億円

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

・設備投資(支払ベース)	△1,225億円
・投資有価証券増減他	△122億円

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

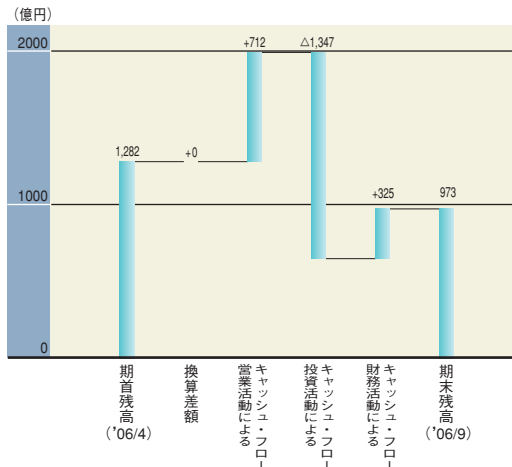
・借入金増額	+398億円
・配当金支払	△54億円
・その他	△19億円

## 研究開発費の推移

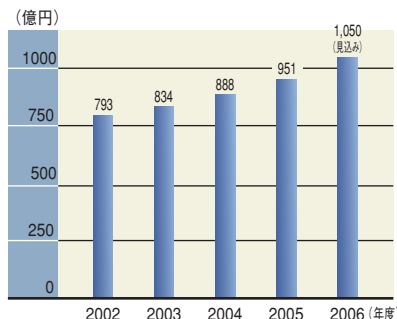
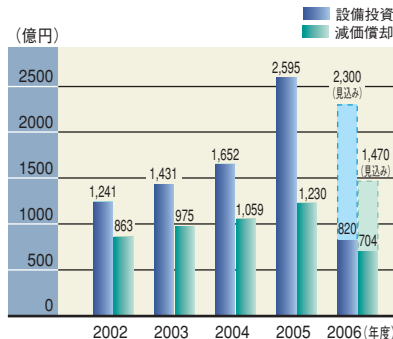
技術開発競争は一段と熾烈さを増しており、高い水準での技術開発投資が不可欠となっています。

一時的な環境変化や業績に左右されることなく、常に将来を見据えた技術開発に力を入れていくことを基本姿勢に、今後も積極的な投資をはかり、新しい商品をいち早く世に送り出すことで、みなさまのニーズに応えていきたいと考えています。

## ■ キャッシュ・フロー



## ■ 設備投資/減価償却



## ■ 損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前年中間期
	2006年4月1日から 2006年9月30日まで	2005年4月1日から 2005年9月30日まで
売上高	<b>366,755</b>	<b>344,325</b>
売上原価	329,521	297,474
販売費及び一般管理費	28,396	29,907
営業利益	<b>8,836</b>	<b>16,942</b>
営業外収益	<b>9,562</b>	<b>7,045</b>
営業外費用	<b>3,897</b>	<b>1,962</b>
経常利益	<b>14,501</b>	<b>22,025</b>
税引前中間(当期)純利益	<b>14,501</b>	<b>22,025</b>
法人税、住民税及び事業税	1,200	6,300
法人税等調整額	2,107	785
中間(当期)純利益	<b>11,193</b>	<b>14,939</b>

## ■ 中間配当について

2006年10月31日開催の取締役会において、2006年9月30日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載または記録された株主または登録質権者に対して行う中間配当につき、次のとおり決議いたしました。

1. 中間配当金……………1株につき16円
2. 支払請求権の効力発生日および支払開始日  
……………2006年11月27日

## ■ 貸借対照表の要旨

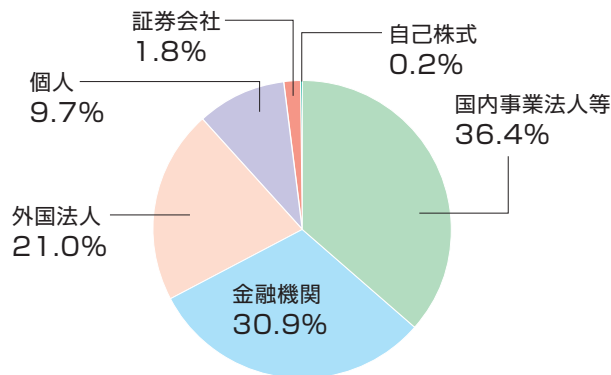
(単位:百万円)

科 目	当中間期	前 期	科 目	当中間期	前 期
	(2006年9月30日)	(2006年3月31日)		(2006年9月30日)	(2006年3月31日)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
流動資産	<b>309,470</b>	<b>292,886</b>	流動負債	<b>196,565</b>	<b>205,005</b>
現金及び預金	19,820	21,398	支払手形及び買掛金	100,286	101,608
受取手形及び売掛金	155,078	157,215	その他	96,279	103,396
有価証券	9,811	23,102	固定負債	<b>335,197</b>	<b>300,327</b>
たな卸資産	22,473	19,979	社債	35,000	35,000
その他	102,528	71,395	長期借入金	200,000	164,000
貸倒引当金	△ 243	△ 205	繰延税金負債	60,269	62,345
固定資産	<b>670,806</b>	<b>658,295</b>	退職給付引当金	38,010	37,653
有形固定資産	<b>170,505</b>	<b>169,391</b>	長期未払金	982	1,329
建物及び構築物	64,352	57,960	その他	934	—
機械装置及び運搬具	60,756	55,071	負債計	<b>531,763</b>	<b>505,333</b>
その他	45,395	56,359	<b>(純資産の部)</b>		
無形固定資産	<b>3,912</b>	<b>3,932</b>	株主資本	<b>329,081</b>	<b>324,432</b>
投資その他の資産	<b>496,388</b>	<b>484,970</b>	資本金	45,049	45,049
投資有価証券	94,571	90,896	資本剰余金	63,171	63,262
関係会社株式・出資金	318,198	317,977	利益剰余金	222,217	216,910
その他	83,749	76,223	自己株式	△ 1,356	△ 790
貸倒引当金	△ 130	△ 126	評価・換算差額等	<b>119,389</b>	<b>121,415</b>
合 計	<b>980,277</b>	<b>951,182</b>	新株予約権	41	—
			純 資 産 計	<b>448,513</b>	<b>445,848</b>
			合 計	<b>980,277</b>	<b>951,182</b>

(注) 前期は、当中間期と同様の基準で作成しております。

発行する株式の総数……………700,000 千株  
 発行済株式の総数……………294,674 千株  
 株主数……………27,135 名

## 株式の分布状況



## 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
トヨタ自動車株式会社	65,558	23.0
株式会社豊田自動織機	19,658	6.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	17,215	6.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	15,919	5.6
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	8,141	2.9
資産管理サービス信託銀行株式会社	7,403	2.6
日本生命保険相互会社	7,186	2.5
アイシン開発株式会社	6,499	—
東和不動産株式会社	6,344	2.2
三井住友海上火災保険株式会社	5,902	2.1

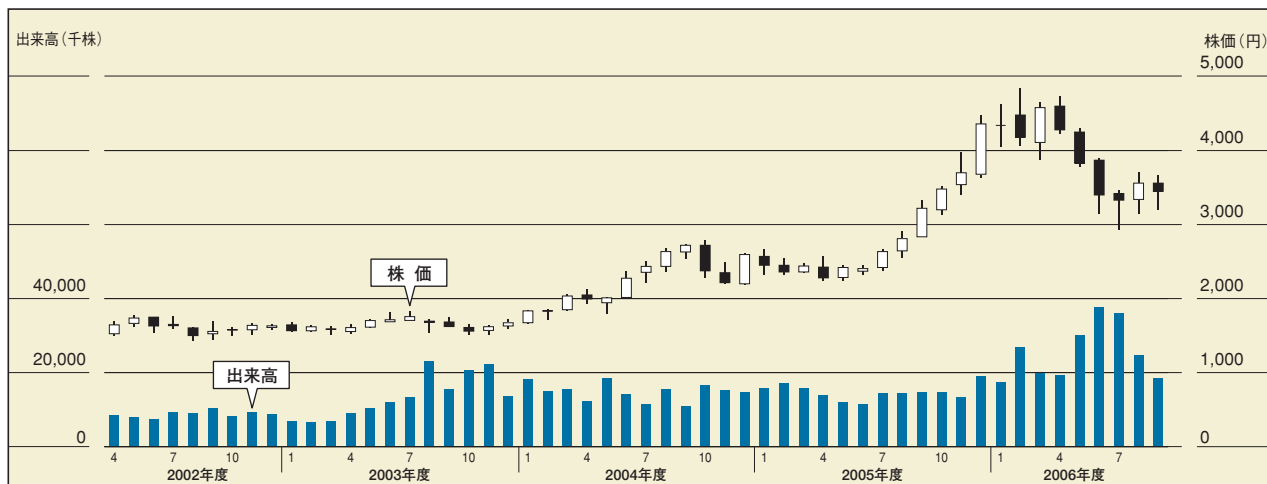
## 配当金の推移

※( )内は見込み

	2002	2003	2004	2005	2006(年報)
中間(円)	6.5	8.0	10.0	13.0	16.0
期末(円)	8.5	10.0	14.0	19.0	(16.0)
合計(円)	15.0	18.0	24.0	32.0	(32.0)

## 株価・出来高の推移

証券コード:7259 単元株式数:100株



## ■ 会社概要 (2006年9月30日現在)

会社名	アイシン精機株式会社
本社所在地	〒448-8650 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地 TEL 0566-24-8441 (代表)
設立年月日	1949年6月1日
資本金	450億円
従業員数	単独 11,319人 連結 64,307人
連結対象会社	連結子会社 136社 (国内61社、海外75社) 持分法適用会社 14社 (国内10社、海外4社)

### ホームページのご案内

<http://www.aisin.co.jp>

財務情報・決算広告などは「株主・投資家情報」のページをご覧ください。

また、EメールによるIR情報発信サービス「アイシン精機ニュースメール」を行っています。ご希望の方はアイシン精機ホームページ「株主・投資家情報」にアクセスしていただき、画面右上の「アイシン精機ニュースメール」申し込みページより、必要事項をご入力の上、ご登録ください。

みなさまのアクセスをお待ちしています。

## ■ 取締役および監査役 (2006年9月30日現在)

取締役会長	豊田 幹 司 郎	専務取締役	齋 藤 千 久	取 締 役	森 治 男
取締役副会長	田 中 資 康	専務取締役	奥 矩 雄	取 締 役	近 藤 隆 一 郎
取締役副会長	夏 目 美 喜 雄	専務取締役	堀 場 正 樹	取 締 役	周 防 雅 弘
取締役社長	山 内 康 仁	専務取締役	水 野 玄 四 郎	取 締 役	千 賀 哲 郎
取締役副社長	林 稔	専務取締役	中 村 俊 一	常 勤 監 査 役	水 野 清 史
取締役副社長	井 上 宗 太	専務取締役	板 倉 伸 二	常 勤 監 査 役	権 田 銀 弘
取締役副社長	藤 森 文 雄	専務取締役	内 本 恒 男	監 査 役	豊 田 章 一 郎
取締役副社長	川 田 武 司			監 査 役	水 谷 渺 行
				監 査 役	濱 田 道 代
				監 査 役	山 田 洋 久

## ■ 常務役員 (2006年9月30日現在)

山村 慎一郎	瀬川 儀一	榎本 貴志
名倉 敏一	神尾 哲樹	齋藤 雅康
鈴木 光幸	西村 淳一	宇佐見 一美
石山 正二	藤江 直文	三矢 誠
森田 隆史	島貫 静雄	水島 寿之
間瀬 隆	辻村 健次	加藤 喜昭

## 株式についてのご案内

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 期末配当金支払い株主確定日 3月31日 なお、中間配当を行う場合は、9月30日
- 単元株式数 100株
- 証券コード 7259
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
- 取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
野村證券株式会社 全国本支店

## 株主インフォメーション

### ■ 中間配当金のお受け取りについて

今回お届けした郵便振替支払通知書による配当金のお受け取り期間は平成18年12月29日(金)までとなっております。郵便振替支払通知書をお持ちになって、お近くの郵便局でお早めにお受け取りください。

### ■ 株式手続きについて

住所変更、株主名簿、株券喪失登録簿および新株予約権原簿への記載または記録、単元未満株式の買取および買増請求、その他株式に関するお問い合わせは次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも承っております。

電話(通話料無料) 0120-232-711(お問い合わせ:オペレーター対応)  
0120-244-479(音声自動応答:用紙のご請求専用)  
ホームページ <http://www.tr.mufg.jp>

## アイシン精機株式会社

〒448-8650 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地  
電話(0566)24-8441(代表)



本紙は環境保護に配慮し、古紙配合率100%再生紙を用い、アメリカ大豆協会認定の「大豆油インキ」を使用して印刷されています。